

国土利用計画（八代市計画）

参考資料編

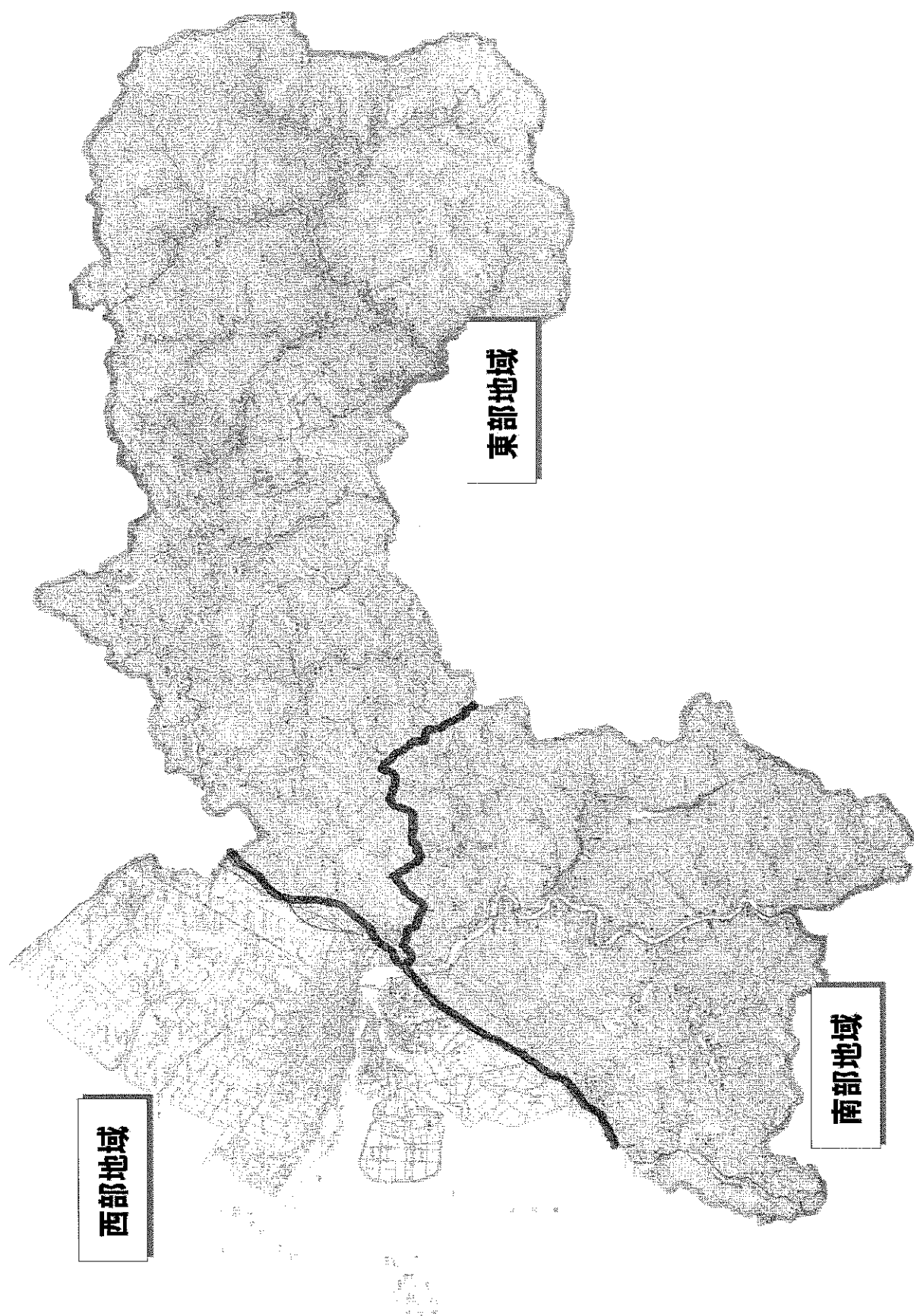
目 次

1. 計画策定の経緯	1
2. 計画における地域区分	2
3. 計画における主要指数	3
4. 国土の利用区分の定義	4
5. 人口の推移	6
6. 国土利用の推移	7
7. 利用区分ごとの国土利用の推移	8
8. 利用区分ごとの国土利用の規模の目標	9
9. 人口等を基礎とした用地原単位の推移	10
(1) 農用地面積と関係指標の推移と目標	10
(2) 森林面積と関係指標の推移と目標	11
(3) 水面・河川・水路面積の推移と目標	12
(4) 水面・河川・水路面積の推移	13
(5) 道路面積と関係指数の推移と目標	14
(6) 道路面積の推移	15
(7) 住宅地面積の推移と目標	16
(8) 工業用地面積と関係指標の推移と目標	17
(9) その他の宅地面積と関係指標の推移と目標	18
(10) 利用区分の「その他」の内訳	19
(11) 全域面積と関係指標の推移と目標	20
(12) 市街地面積の推移と目標	21
10. 平成8年～平成18年の利用区分面積の増減とその理由	22
11. 平成18年～平成29年の利用区分面積の増減とその理由	23
12. 八代市土地利用現況図	24
13. 八代市土地利用構想図	25

1. 計画策定の経緯

年月日	経 過 等
平成20年8月28日	八代工業高等専門学校と基礎調査業務委託契約締結
平成21年1月19日	第1回(起案・起案専門)委員会合同会議
平成21年1月27日	第2回起案専門委員会
平成21年2月9日	(第2回起案・第3回起案専門)委員会合同会議
平成21年2月20日	第1回策定委員会
平成21年3月2日	第1回策定審議会
平成21年3月17日	国土利用計画(案)について県協議
平成21年3月25日	第2回策定審議会
平成21年3月30日	審議会答申
平成21年4月30日	八代工業高等専門学校による調査研究報告
平成21年6月19日	八代市議会議決

2. 計画における地域区分



3. 計画における主要指標

①人口関係

平成29年度における人口を八代市総合計画基本構想に準じて130,000人とするとともに、世帯数を46,400世帯と設定する。

また、中間年次である平成24年度の人口を133,000人、世帯数を46,500世帯と設定する。

②農林水産業関係

農業については、後継者の確保及び資質向上及び作物の品質向上を促し、経営安定を図る。また、農業基盤の整備をすすめ、農地の有効利用を図る。

林業については、流通体制の近代化を促進し収益性を高め、林道・作業路を整備し森林を守り育て、二酸化炭素の吸収能力、水資源の涵養能力を維持するとともに市民の憩いの場としての利用を進める。

水産業については、生産基盤の整備及び漁場環境の保全・整備を図るとともに、栽培漁業の確立を図り水産資源の維持拡大に努める。

③工業関係

地場企業については、産学官連携による新技術・新製品の開発及び生産技術の向上を促進するとともに人材の育成を図り、競争力を高める。

企業の誘致については、新たな立地を促進するための受け皿づくりを進める。

貿易については、九州の中心という地理的優位性に加え、国際港湾・高速道路・新幹線など高速交通網を活かし、国際物流拠点をめざした基盤整備を図る。

④第三次産業関係

中心市街地活性化基本計画に沿った市街地整備を進めるとともに、サービス業の振興を図る。

⑤交通関係

都市計画道路を主とする地域幹線道路と身近な生活道路の整備を計画的に進めるとともに、バスや鉄道などの公共交通機関との結節施設を整備し、地域交通網の機能強化を図る。

また、国道や県道などの広域幹線道路や高速交通機能を担う高規格道路・新幹線を整備促進を図り、広域交通網の機能強化を図る。

農道、林道については、新しい農林業生産体制に応じた整備を図る。

⑥環境保全・自然環境関係

自然が持つ復元力の限界を認識し、行政・市民・事業者が一体となって、それぞれの立場から責任と役割を分担し、環境への負荷を低減する社会経済システムへの転換に努める必要がある。

さらに、生活の豊かさと環境とが調和した、快適な環境の保全・創造の実現に向けて、ひとと自然との共生を図るための総合的な環境施策をすすめる。

⑦国土保全関係

市民の生命、財産の安全性を確保するため、山間・山麓での崩壊対策事業や砂防事業、河川整備による治水事業、海岸部での高潮対策事業など、各種の国土保全のための事業の拡充を図る。

⑧その他

公共施設用地、公園用地などについては、交通体系や既存施設との関連、住民の意向を反映させるとともに、国際化・高齢化・情報化も考慮し、日常生活で市民が十分なサービスを受けられるよう、適正な配置を図る。

4. 国土の利用区分の定義

利用区分	定 義	資 料
1 農用地	農地法第2条第1項に定める農地及び採草放牧地の合計である。	
(1)農地	耕作の目的に供される土地であつて畦畔を含む。	「耕地及び作付面積統計」
(2)採草放牧地	農地以外の土地で、主として耕作又は養畜の事業のための採草又は家畜の放牧の目的に供されるもの。	採草放牧地は該当なし
2 森林	国有林と民有林の合計である。なお、林道面積は含まない。 1) 国有林 ア 林野庁所管国有林 国有林野法第2条に定める国有林野から採草放牧地を除いたもの。 イ 官行造林地 旧公有林野等官行造林法第1条の規定に基づき契約を締結しているもの。 ウ その他省庁所管国有林 林野庁以外の国が所有している森林法第2条第1項に定める森林。 2) 民有林 森林法第2条第1項に定める森林であつて同法同条第3項に定めるもの。	「熊本県林業統計要覧」
3 原野	「世界農林業センサス林業調査報告書」の「森林以外の草生地」から「採草放牧地」又は国有林に係る部分を除いた面積である。	熊本県土地利用現況把握調査
4 水面・河川・水路	水面、河川及び水路の合計である。 1) 水面 湖沼(人造湖及び天然湖沼)並びにため池の満水時の水面 2) 河川 河川法第4条に定める一級河川、同法第5条に定める二級河川及び同法第100条による準用河川の同法第6条に定める河川区域。 3) 水路 農業用排水路	水面・・・熊本県土地利用現況把握調査 1級・・・国土交通省平成2年度河川現況調査 2級・準用河川・・・熊本県土地利用現況把握調査 水路面積は以下の算式による。 水路面積＝整備済水田面積×整備済水田の水路率＋未整備水田面積×未整備水田の水路率 整備済水田の水路率8.3% 未整備済水田の水路率4.0% 市農地整備課資料

利用区分	定 義	資 料
5 道路	一般道路、農道及び林道の合計である。車道部(車道、中央帯、路肩)、歩道部、自転車道部及び法面等からなる。 1) 一般道路 道路法第2条第1項に定める道路。 2) 農道 農地面積に一定率を乗じた圃場内農道及び「市町村農道台帳」の農道延長に一定幅員を乗じた圃場外農道。 3) 林道 国有林林道及び民有林林道。	国道、県道、市道・・・道路現況調書等 高速道路・・・西日本高速道路株式会社調べ 農道面積は以下の算式による。 農道面積＝圃場内農道面積＋圃場外農道 圃場内農道面積＝水田地域における圃場内農道面積(A)＋畑地域における圃場内農道面積(B) $A = \text{整備済水田面積} \times \text{整備済水田の農道率}(7.0\%) + \text{未整備水田面積} \times \text{未整備水田の農道率}(3.4\%)$ $B = \text{整備済畑面積} \times \text{整備済畑の農道率}(6.7\%) + \text{未整備畑面積} \times \text{未整備畑の農道率}(2.3\%)$ 圃場外農道面積＝広域農道・一般農道・農免道路・団体営農道の延長×一定幅員 市農地整備課資料 市水産林務課資料
6 宅地 (1)住宅地 (2)工業用地 (3)その他の宅地	建物の敷地及び建物の維持または効用を果たすために必要な土地である。 「固定資産の価格等の概要調書」の評価給地積の住宅用地に、非課税地積のうち、都道府県営住宅用地、市町村営住宅用地及び公務員住宅用地を加えたもの。 「工業統計表(用地・用水編)」にいう「事業所敷地面積」に従業員10人以上の事業所敷地面積に補正したもの。 (1)及び(2)の区分のいずれにも該当しない宅地。	宅地＝住宅地＋工業用地＋その他の宅地 宅地面積・・・熊本県土地利用現況把握調査 住宅地面積・・・熊本県土地利用現況把握調査 工業用地面積・・・熊本県土地利用現況把握調査 その他の宅地面積＝宅地面積－(住宅地面積＋工業用地面積)
7 その他	市土面積から「農用地」、「森林」、「原野」、「水面・河川・水路」、「道路」及び「宅地」の各面積を差し引いたものである。	文教施設、公園緑地、交通施設等の公共施設用地、レクリエーション施設用地などが含まれる。
市街地	国勢調査による「人口集中地区」である。	国勢調査

5. 人口の推移

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成24年	平成29年	平成17年 ～24年	平成17年 ～29年
1. 人口								
総人口(人)	145,959	143,712	140,655	136,886	133,000	130,000	-3,886	-6,886
2. 高齢化								
(人) 65歳以上人口	21,870	26,675	31,606	35,137	36,300	40,500	1,163	5,363
3. 義務教育								
(人) 該当年齢人口	18,626	16,317	13,783	12,397	—	—	—	—
4. 世帯								
世帯数(世帯)	42,975	44,956	46,056	46,983	46,500	46,400	-483	-583
5. 都市化								
(人) 人口集中地区人口	57,400	63,414	63,589	64,058	64,715	65,184	657	1,126
6. 高学歴化								
高等教育修了者 及び在学者数(人)	—	—	—	—	—	—	—	—
18歳以上人口に 対する比(%)								
7. 労働力供給								
労働力人口(人)	73,122	73,632	70,802	68,789	—	—	—	—

資料: 国勢調査

義務教育人口は、学校基本調査(小・中・養護学校の児童生徒数の合計)

6. 国土利用の推移

(単位:ha・%)

区分	全 域				
	平成8年		平成18年		増減面積
	面積	構成比	面積	構成比	
1. 農用地	8,331	12.2	7,696	11.3	-635
田	7,226	10.6	6,870	10.1	-356
畑	1,105	1.6	826	1.2	-279
伐採放牧地	0	0.0	0	0.0	0
2. 森林	49,551	72.9	49,536	72.8	-15
国有林	9,893	14.5	9,883	14.5	-10
民有林	39,659	58.3	39,653	58.3	-6
3. 原野	6	0.0	6	0.0	0
4. 水面・河川・水路	2,130	3.1	2,115	3.1	-15
水面	190	0.3	190	0.3	0
河川	1,505	2.2	1,505	2.2	0
水路	435	0.6	420	0.6	-15
5. 道路	1,947	2.9	2,085	3.1	138
一般	1,427	2.1	1,576	2.3	149
農道	434	0.6	417	0.6	-17
林道	86	0.0	92	0.2	6
6. 宅地	2,470	3.6	2,745	4.0	275
住宅地	1,596	2.3	1,734	2.5	138
工業用地	264	0.4	243	0.4	-21
その他の住宅	610	0.9	768	1.1	158
7. その他	3,575	5.3	3,841	5.6	266
合 計	68,010	100.0	68,024	100.0	14

7. 利用区分ごとの国土利用の推移

(単位:ha)

利用区分	平成 8年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年
1. 農用地	8,331	8,278	8,228	8,194	8,119	7,963	7,888	7,816	7,764	7,739	7,696
田	7,226	7,190	7,153	7,127	7,093	7,066	7,029	6,961	6,925	6,900	6,870
畑	1,105	1,088	1,075	1,067	1,026	897	859	855	839	839	826
採草放牧地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 森林	49,551	49,547	49,537	49,546	49,542	49,542	49,544	49,536	49,536	49,536	49,536
国有林	9893	9890	9881	9890	9890	9890	9890	9883	9883	9883	9883
民有林	39,659	39,657	39,656	39,656	39,652	39,652	39,654	39,653	39,653	39,653	39,653
3. 原野	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
4. 水面・河川 ・水路	2,130	2,129	2,128	2,127	2,126	2,125	2,123	2,118	2,117	2,116	2,115
水面	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190
河川	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505	1,505
水路	435	434	433	432	431	430	428	423	422	421	420
5. 道路	1,947	1,937	1,974	1,984	1,987	1,993	2,066	2,075	2,096	2,075	2,085
一般	1,427	1,417	1,452	1,464	1,463	1,473	1,550	1,561	1,585	1,565	1,576
農道	434	433	433	431	431	427	425	422	419	418	417
林道	86	87	89	89	93	93	91	92	92	92	92
6. 宅地	2,470	2,507	2,528	2,594	2,606	2,661	2,686	2,701	2,675	2,699	2,745
住宅地	1,596	1,613	1,628	1,646	1,653	1,654	1,668	1,683	1,694	1,700	1,734
工業用地	264	265	268	263	254	261	259	246	243	244	243
その他の 住 宅	610	629	632	685	699	746	759	772	738	755	768
7. その他	3,575	3,605	3,609	3,559	3,624	3,729	3,706	3,770	3,828	3,853	3,841
合 計	68,010	68,010	68,010	68,010	68,010	68,019	68,019	68,022	68,022	68,024	68,024
市 街 地	—	—	—	—	1,900	—	—	—	—	1,920	—

8. 利用区分ごとの国土利用の規模の目標

(単位:ha・%)

区分	全 域				
	平成18年	平成24年	平成29年	平成24年 平成18年	平成29年 平成18年
1. 農用地	7,696	7,513	7,408	97.6	96.3
田	6,870	6,730	6,650	98.0	96.8
畑	826	783	758	94.8	91.8
採草放牧地	0	0	0	0	0
2. 森林	49,536	49,526	49,516	100.0	100.0
国有林	9,883	9,883	9,883	100.0	100.0
民有林	39,653	39,643	39,633	100.0	99.9
3. 原野	6	6	6	100.0	100.0
4. 水面・河川 ・水路	2,115	2,105	2,097	99.5	99.1
水面	190	190	190	0	0
河川	1,505	1,505	1,505	100.0	100.0
水路	420	410	402	97.6	95.7
5. 道路	2,085	2,119	2,148	101.6	103.0
一般	1,576	1,612	1,640	102.3	104.1
農道	417	405	396	97.1	95.0
林道	92	102	112	110.5	121.4
6. 宅地	2,745	2,888	2,997	105.2	109.2
住宅地	1,734	1,765	1,809	101.8	104.3
工業用地	243	249	249	102.5	102.5
その他の 住 宅	768	874	939	113.8	122.3
7. その他	3,841	3,904	4,015	101.6	104.5
合 計	68,024	68,061	68,187	100.1	100.2

9. 人口等を基礎とした用地原単位の推移

(1) 農用地面積と関係指標の推移と目標

区分	農用地面積			人口	農業就業人口	人口1人 当たり 農用地 面積	農業就業人口 1人当たり 農用地 面積
	農地	採草 放牧地	農用地				
	ha	ha	ha	人	人	(アール/人)	(アール/人)
平成8年	8,331	—	8,331	143,434	—	5.81	—
9	8,278	—	8,278	143,134	—	5.78	—
10	8,228	—	8,228	142,569	—	5.77	—
11	8,194	—	8,194	141,840	—	5.78	—
12	8,119	—	8,119	140,655	11,608	5.77	69.94
13	7,963	—	7,963	140,084	—	5.68	—
14	7,888	—	7,888	139,345	—	5.66	—
15	7,816	—	7,816	138,198	—	5.66	—
16	7,764	—	7,764	137,486	—	5.65	—
17	7,739	—	7,739	136,886	9,751	5.65	79.37
18	7,696	—	7,696	135,775	—	5.67	—
24	7,513	—	7,513	133,000	—	5.65	—
29	7,408	—	7,408	130,000	—	5.70	—

資料：農用地面積は、「耕地及び作付面積統計」(農林水産省統計情報部)による。

人口は、「国勢調査」(総務省)による。

農業就業人口は「農業センサス」による。

9－(2)森林面積と関係指標の推移と目標

区分	森林 面積	人口	市面積	人口1人当たり 森林面積	市面積に占める 森林面積の割 合
	ha	人	ha	(㎡/人)	%
平成8年	49,551	143,434	68,010	3,454.64	72.9
9	49,547	143,134	68,010	3,461.61	72.9
10	49,537	142,569	68,010	3,474.60	72.8
11	49,546	141,840	68,010	3,493.12	72.9
12	49,542	140,655	68,010	3,522.26	72.8
13	49,542	140,084	68,019	3,536.62	72.8
14	49,544	139,345	68,019	3,555.49	72.8
15	49,536	138,198	68,022	3,584.43	72.8
16	49,536	137,486	68,022	3,602.97	72.8
17	49,536	136,886	68,024	3,618.76	72.8
18	49,536	135,775	68,024	3,648.37	72.8
24	49,526	133,000	68,061	3,723.74	72.8
29	49,516	130,000	68,187	3,808.91	72.6

資料：森林面積は「熊本県林業統計要覧」による。

人口は、「国勢調査」(総務省)による。

市面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。

9-(3) 水面・河川・水路面積の推移と目標

区分	水面・河川・ 水路面積	人口	市面積	人口千人 当たりの 水面・河川・ 水路面積	市面積に 占める水面・ 河川・水路面積 の割合
	ha	人	ha	(ha/千人)	%
平成8年	2,130	143,434	68,010	14.85	3.1
9	2,129	143,134	68,010	14.87	3.1
10	2,128	142,569	68,010	14.93	3.1
11	2,127	141,840	68,010	15.00	3.1
12	2,126	140,655	68,010	15.11	3.1
13	2,125	140,084	68,019	15.17	3.1
14	2,123	139,345	68,019	15.24	3.1
15	2,118	138,198	68,022	15.33	3.1
16	2,117	137,486	68,022	15.40	3.1
17	2,116	136,886	68,024	15.46	3.1
18	2,115	135,775	68,024	15.58	3.1
24	2,105	133,000	68,061	15.83	3.1
29	2,097	130,000	68,187	16.13	3.1

資料：水面面積は、熊本県土地利用現況把握調査による。

河川面積は、国土交通省河川現況調査及び県土地利用現況把握調査による。

水路面積は、市担当課資料による。

人口は、「国勢調査」(総務省)による。

市面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。

9-(4)水面・河川・水路面積の推移

区分	水面	河川	水路	合計	同左推移(指数)
	ha	ha	ha	ha	
平成8年	190	1,505	435	2,130	100
9	190	1,505	434	2,129	100
10	190	1,505	433	2,128	100
11	190	1,505	432	2,127	100
12	190	1,505	431	2,126	100
13	190	1,505	430	2,125	100
14	190	1,505	428	2,123	100
15	190	1,505	423	2,118	99
16	190	1,505	422	2,117	99
17	190	1,505	421	2,116	99
18	190	1,505	420	2,115	99
24	190	1,505	410	2,105	99
29	190	1,505	402	2,097	98

資料：水面面積は、熊本県土地利用現況把握調査による。

河川面積は、国土交通省河川現況調査及び熊本県土地利用現況把握調査による。

水路面積は、市担当課資料による。

9-(5)道路面積と関係指数の推移と目標

区分	道路面積	人口	市面積	人口千人 当たりの 道路面積	市面積に 占める 道路面積 の割合
	ha	人	ha	(ha/千人)	%
平成8年	1,947	143,434	68,010	13.57	2.9
9	1,937	143,134	68,010	13.54	2.8
10	1,974	142,569	68,010	13.84	2.9
11	1,984	141,840	68,010	13.99	2.9
12	1,987	140,655	68,010	14.13	2.9
13	1,993	140,084	68,019	14.23	2.9
14	2,066	139,345	68,019	14.83	3.0
15	2,075	138,198	68,022	15.01	3.1
16	2,096	137,486	68,022	15.25	3.1
17	2,075	136,886	68,024	15.16	3.1
18	2,085	135,775	68,024	15.36	3.1
24	2,119	133,000	68,061	15.93	3.1
29	2,148	130,000	68,187	16.52	3.2

資料：道路面積は、国道・県道・市道は、道路現況調査及び県土地利用現況把握調査
 高速道路は、西日本高速道路株式会社調べによる。
 農道は、市担当課資料による。
 林道は、市担当課資料による。
 人口は、「国勢調査」(総務省)による。
 市面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。

9-(6)道路面積の推移

区分	一般道路	農道	林道	農林道計	道路合計	同左推移(指数)
	ha	ha	ha	ha	ha	
平成8年	1,427	434	86	520	1,947	100
9	1,417	433	87	520	1,937	100
10	1,452	433	89	522	1,974	101
11	1,464	431	89	520	1,984	102
12	1,463	431	93	524	1,987	102
13	1,473	427	93	520	1,993	102
14	1,550	425	91	516	2,066	106
15	1,561	422	92	514	2,075	107
16	1,585	419	92	511	2,096	108
17	1,565	418	92	510	2,075	107
18	1,576	417	92	509	2,085	107
24	1,612	405	102	507	2,119	109
29	1,640	396	112	508	2,148	110

資料：道路面積は、国道・県道・市道は、道路現況調査及び熊本県土地利用現況把握調査
 高速道路は、西日本高速道路株式会社調べによる。
 農道は、市担当課資料による。
 林道は、市担当課資料による。

9-(7)住宅地面積の推移と目標

区分	住宅地面積	世帯数	1世帯当たりの 住宅地面積
	ha	世帯	(㎡/世帯)
平成8年	1,596	45,089	354.0
9	1,613	45,206	356.8
10	1,628	45,304	359.4
11	1,646	45,310	363.3
12	1,653	46,056	358.9
13	1,654	46,418	356.3
14	1,668	46,785	356.5
15	1,683	47,030	357.9
16	1,694	47,467	356.9
17	1,700	46,983	361.8
18	1,734	47,407	365.8
24	1,765	46,500	379.6
29	1,809	46,400	389.9

資料：住宅地面積は、熊本県土地利用現況把握調査による。
世帯数は、「国勢調査」(総務省)による。

9-(8)工業用地面積と関係指標の推移と目標

区分	工業用地面積	従業員数(30人以上)	従業員1人当たりの 工業用地面積
	ha	人	(m ² /人)
平成8年	264	6,929	381.0
9	265	6,845	387.1
10	268	6,412	418.0
11	263	5,703	461.2
12	254	5,856	433.7
13	261	5,577	468.0
14	259	5,422	477.7
15	246	5,369	458.2
16	243	5,306	458.0
17	244	5,365	454.8
18	243	5,469	444.3
24	249	—	—
29	249	—	—

資料：熊本県土地利用現況把握調査による。

9－(9)その他の宅地面積と関係指標の推移と目標

区 分	その他の宅地面積	人口	1人当たりの その他の宅地面積
	ha	人	(㎡/人)
平成8年	610	143,434	42.5
9	629	143,134	43.9
10	632	142,569	44.3
11	685	141,840	48.3
12	699	140,655	49.7
13	746	140,084	53.3
14	759	139,345	54.5
15	772	138,198	55.9
16	738	137,486	53.7
17	755	136,886	55.2
18	768	135,775	56.6
24	874	133,000	65.7
29	939	130,000	72.2

資料：人口は、「国勢調査」(総務省)による。

9-(10)利用区分の「その他」の内訳

(単位:ha)

区分	面積	備 考
文教施設用地	184.3	学校教育施設、社会教育施設、体育施設
公園・緑地等	86.6	公園・緑地・広場等、その他の公園等
交通施設用地	205.0	鉄軌道、港湾施設
電気通信用地	1.0	
環境衛生施設用地	20.0	上水道施設、下水道施設、廃棄物処理施設、共同墓地及び火葬場
厚生福祉施設用地	13.9	病院等
社会福祉施設用地	48.8	児童福祉施設、老人福祉施設、身体障害者施設、知的障害者施設、その他の福祉施設
流通施設用地	3.6	地方卸売市場
官公署用地等	74.3	国の機関に係る官公署、警察署、消防署等
レクリエーション施設	98.4	ゴルフ場等
その他	3,105.1	
合計	3,841.0	

資料：市担当課調べ。

9-(11) 全域面積と関係指標の推移と目標

区分	全域面積	人口	人口1人当たりの 市面積
	ha	人	(m ² /人)
平成8年	68,010	143,434	4,741.6
9	68,010	143,134	4,751.5
10	68,010	142,569	4,770.3
11	68,010	141,840	4,794.8
12	68,010	140,655	4,835.2
13	68,019	140,084	4,855.6
14	68,019	139,345	4,881.3
15	68,022	138,198	4,922.1
16	68,022	137,486	4,947.6
17	68,024	136,886	4,969.4
18	68,024	135,775	5,010.1
24	68,061	133,000	5,117.4
29	68,187	130,000	5,245.2

資料：全域面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
人口は、「国勢調査」(総務省)による。

9－(12)市街地面積の推移と目標

	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 24年	平成 29年	増加分の変化				
							2～7	7～12	12～17	17～24	24～29
人口(人)	145,959	143,712	140,655	136,886	133,000	130,000	-2,247	-3,057	-3,769	-3,886	-3,000
面積(ha)	67,975	68,009	68,010	68,024	68,061	68,187	34	1	14	37	126
密度 (人／ha)	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	1.9	-0	-0	-0	-0	-0

資料:「国勢調査」(総務省)による。

10. 平成8年～平成18年の利用区分面積の増減とその理由

(単位:ha・%)

利用区分	平成8年	平成18年	増 減			増減の主たる理由
			面積	率	年平均	
農用地	8,331	7,696	-635	-7.6	-0.8	宅地、道路、その他への転用による減少
森林	49,551	49,536	-16	0.0	0.0	
原野	6	6	0	0.0	0.0	
水面	190	190	0	0.0	0.0	
河川	1,505	1,505	0	0.0	0.0	
水路	435	420	-15	-3.4	-0.3	水田の減少に伴う水路の減少
一般道路	1,427	1,576	149	10.4	1.0	道路整備による新設及び改良に伴う増加
農道	434	417	-17	-3.9	-0.4	農地の減少に伴う農道の減少
林道	86	92	6	7.2	0.7	林道の新設に伴う増加
住宅地	1,596	1,734	138	8.6	0.9	農地の宅地化及び核家族化に伴う増加
工業用地	264	243	-21	-8.0	-0.8	事業所(従業員数30人以上)の減少
その他の宅地	610	768	158	25.9	2.6	事務所、店舗、倉庫等の増加
その他	3,575	3,841	266	7.5	0.7	総面積から上記各区分ごとの面積の和を差し引いたもの。
合計	68,010	68,024	14	0.0	0.0	海面の埋め立てに伴う増加

11. 平成18年～平成29年の利用区分面積の増減とその理由

(単位:ha・%)

利用区分	平成18年	平成29年	増 減			増減の主たる理由
			面積	率	年平均	
農用地	7,696	7,408	-288	-3.7	-0.4	宅地、道路、その他への転用による減少
森林	49,536	49,516	-20	0.0	0.0	林道面積増加分の減少
原野	6	6	—	—	—	現状維持
水面	190	190	—	—	—	現状維持
河川	1,505	1,505	—	—	—	現状維持
水路	420	402	-18	-4.3	-0.4	水田の減少に伴う水路の減少
一般道路	1,576	1,640	64	4.1	0.4	道路整備による新設及び改良に伴う増加
農道	417	396	-21	-5.0	-0.5	農地の減少に伴う農道の減少
林道	92	112	20	21.4	2.1	林道の新設に伴う増加
住宅地	1,734	1,809	75	4.3	0.4	区画整理事業等宅地開発に伴う住宅地の増加
工業用地	243	249	6	2.5	0.2	工業用地整備による増加
その他の宅地	768	939	171	22.3	2.2	宅地開発の進行等に伴う事務所、店舗、倉庫等の増加
その他	3,841	4,015	174	4.5	0.5	総面積から上記各区分ごとの面積の和を差し引いたもの。
合計	68,024	68,187	163	0.2	0.0	海面の埋め立てに伴う増加